

## ウラクロシジミ

*Iratsume orsedice*

兵庫県：要注目

環境省：－

### 種の概要

前翅長16～19mm程度。♂の翅の表面は銀白色、♀は外縁が黒く、其半部は青白色。裏面♂♀とも暗褐色の地色で、中央に細い白条があり、前翅の外中央部～亜外縁にかけて眼状の斑紋が並び、尾状突起を備える。山地性のチョウで、低山地から標高1000mを超える場所まで見られる。幼虫はマンサクを食草とし、年1化性で、成虫は6月～7月まで見られる。



写真提供：近藤伸一

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、

### 県内分布記録

三田市、神河町、宍粟市、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市、丹波篠山市

### 選定理由

| 人為性   |        | 特殊生息環境 | 学術性   |       |    |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 |        | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○     | ○      |        |       |       |    |

### 特記事項

新規追加種

近年シカの食害の影響を大きくうけた種。ウラクロシジミの食草であるマンサクが低木であり、個体密度が高くなった区域と重なったため、シカの食害の影響を受けて、生息域、個体数が急激に減少した。

### 保護上の留意点